



市政への相談事は
佐藤 ふみおへ

電話 029(831)5397
029(834)7366

発行/2024年5月

かすみがうら新聞

日本共産党かすみがうら市委員会

かすみがうら市稲吉東4-5-18 TEL 029(834)7366 Fax 029(834)7367



日刊紙 月 3497円
日曜版 月 930円

第1回かすみ がうら市議会

宮嶋市長2年目の一般会計予算 全会一致で可決・成立

佐藤議員

条件付して賛成討論

2024年かすみがうら市議会第1回定例会は3月19日、本会議を開き2024(令和6)年度一般会計予算(176億6000万円)を全会一致で可決・成立しました。佐藤議員の賛成討論(概要)は次の通りです。

国保税の子どもの均等割を実質ゼロに

第一に、国民健康保険における18歳までの均等割を「子ども医療保険応援金」として984万9千円を支給し、実質的に均等割をなくしたことを高く評価します。この措置によって682人の子どもを持つ家庭が救われます。

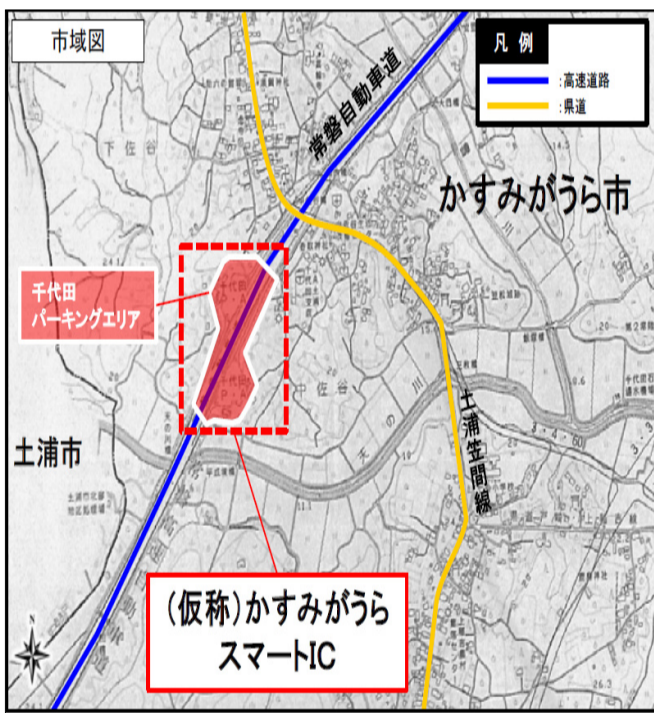
子育て支援に学校給食費無償化へ、一歩前進

第二に、学校給食費無償化の課題については、在籍の子ども2人目から無償化することです。しかし、私は施政方針に対する質問で、リプロダクティブ・ラ



県道・土浦～笠間線のバイパス化を図れ

「仮称」千代田P.A.スマートインターチェンジについて、私は昨年、「費用対効果がないとして反対だ」としたうえで、一昨年、国土交通省からの認可された状況を踏まえ、県道・土浦～笠間線の上稲吉及び下佐谷地域の道路が狭くて危険であることとを考えると県と交渉して、県と共同で県道・土浦～笠間線のバイパス化を図ることを提案しましたが、現状のまま県道・土浦～笠間線に接続する



かすみがうら市 敬老祝金廃止条例に反対

佐藤議員は「敬老祝金給付条例を廃止する条例」に、次の通り反対討論しました。

市長には、高齢者への「敬老の気持ち」がないのでしょうか。削減額は512万2千円。祝金ほどのように使われているのかご存じでしょうか。決して無駄遣いだとは言えません。実質的に年金が減らされている中、高齢者のささやかな楽しみを奪うもので反対です。

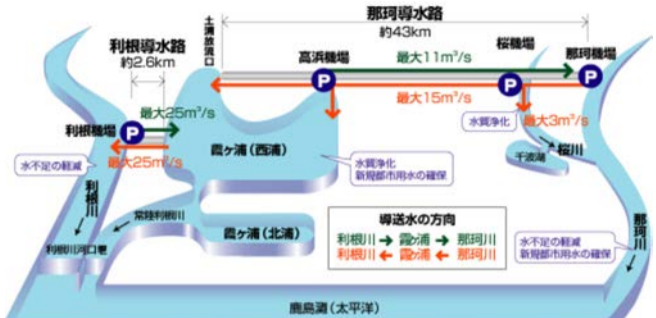


住民こそ主人公の 市政を貫け!

自治体の本旨は「住民の福祉の増進」です。そのために一般会計予算は、市民のいのちと暮らしの充実に使うべきだと考えます。宮嶋市長には、「住人こそ主人公」との立場に立って市政に望んで頂きたいことを申し上げます。意見を付して賛成討論とします。

議会傍聴記

宮嶋市長と議会議員の皆様がそれぞれの信条において「活躍、奮闘」に敬意を表します。私は佐藤文雄議員の活動を背景に市議会の様子を見ています。議員各位には、「生い立ちや環境に起因された思いが強く出ている」様に見えて興味深く感じ、人生の機微に私もそうだと共感している。いま、国政では裏金問題の泥沼から抜け出せない自民党に国民の批判が集中しているのに国民の苦難を無視して米国の言うままに軍事力増強一本やり、危ない日本にされた感がひしひしと。それに対してかすみがうら市議会の対応や如何に、平和への希求、市民の安心・安寧に心してほしい。▼「平和」は寝て待つのではないだろうか。いがみ合いをやめて穏やかな安心な環境のため協力をと願わずにはいられない。戦前のような戦争国家が良いと思う人は一人もいないことを願うばかりです。(H・K)



霞ヶ浦導水事業（那珂川から霞ヶ浦と利根川を結ぶ全長約45.6キロの地下トンネルを結んで水を行き来させる国事業）
 利根導水路 約2.6km
 最大25m³/s
 高浜機場 最大11m³/s
 那珂導水路 約4.3km
 最大15m³/s
 那珂機場 最大3m³/s
 水質浄化 新那珂市用水の確保
 水不足の軽減 新那珂市用水の確保
 導水方向
 利根川 → 霞ヶ浦 → 那珂川
 利根川 ← 霞ヶ浦 ← 那珂川
 那珂川 ← 霞ヶ浦 ← 利根川

議員 佐藤 藤一般

**水道料金の値上げにつながる
1県1水道事業から撤退を！**

佐藤議員は3月5日の一般質問で、「かずみがうら市は同事業から茨城県が新たに策定した『水道ビジョン』である1県1水道事業について、市長は、「県の進める水道事業の「霞ヶ浦導水事業など無駄な水開発が広域化が市にとってメリットがあるが進められ、結果的に高額な県水がかどうかを情報収集を進めて、逐次押しつけられることにつながり、水判断をしまいいり」と述べ、道料金の値上げが想定される」とし 留まりました。

霞ヶ浦導水事業推進は、税金の無駄遣い

佐藤議員は「霞ヶ浦導水事業は、霞ヶ浦と利根川、那珂川を総延長45.6キロの地下トンネルで結んで水を行き来させる国家的大事業だ。当初の総事業費が1900億円だったが、2395億円

ある」と報告されている。かずみがうら市独自の水源である浄水場をなくして高い県水を押し付けられる恐れがある」と述べ、



「環境も破壊し、水道料金の値上げにもつながる霞ヶ浦導水事業はやめるべきだ」と強調。水道事業の広域化である1県1水道事業から当市は撤退すべきだと主張しました。

入札制度の改革問題

佐藤議員 4つの提案

入札制度改革について 佐藤議員は、①談合入札を防止するために予定価格を事後公表にする。②第三者機関をつくり、検査体制を強化する。③1億円を超える工事は低入札価格調査制度を採用する。④共同企業体JV方式を見直すの4つを提案し市当局に質しました。

令和4年6月23日入札実施 条件付き一般競争(電子入札)

下稲吉中学校屋内運動場新築工事 電気設備工事

入札業者	入札金額	同率	備考
大堀メンテナンス・木間塚特定工事企業体	113,300,000	99.91%	
トミン・安達特定建設工事共同企業体	113,000,000	99.65%	0
最低制限価格	102,542,000	90.43%	

令和5年5月23日入札実施 条件付き一般競争(電子入札)

かずみがうら市水族館高圧ケーブル更新工事

入札業者	入札金額	同率	備考
榊千代田電気	2,650,000	97.79%	0
野田電気工業株	2,657,900	98.08%	
榊木間塚電気商会			無効
最低制限価格	2,461,000	90.81%	

「電気設備関係の落札率が極めて高くなっている。業者が少ないのではないかと質しました。」

総務部長は「電気工事は、確かに入札件数が最近5年間の平均応札件数が2・6者で少ない。次年度は、地域要件を拡大して市内本店・支店及び土浦・石岡市本店にあるものにする」と応じました。

公立保育所の民営化計画

宮嶋市長は、「本市としましても、今後とも作業部会へ参加し、情報共有・情報収集を図り、水道事業の広域化が市にとってメリットがあるかどうかを情報収集を進めて、逐次判断をしまいいり」と前回と同じ答弁に留まりました。

佐藤議員は「市町村が保育の実施に責任を持つという児童福祉法第24条第1項を廃止して保護者と直接契約を結ぶというのが政府の狙う保育所民営化だ」と述べ、市当局を質しました。

市立保育所3施設について宮嶋市長は「第一保育所を令和6年度末で閉所する。やまゆり保育所は、多様化する保育ニーズを担うべき観点から、公立として運営を維持し、官民施設連携の下、本市の子育て環境の充実を図る」と答弁しました。

安心して子どもを産める子育て環境を

佐藤議員は「市町村がズに対応するため、また、保育環境の充実化を図るため、民営化に向けた検討を進める。」

わかぐり保育所については、配慮が必要な児童の受入れなど行政機関としての役割を担うべき観点から、公立として運営を維持し、官民施設連携の下、本市の子育て環境の充実を図る」と答弁しました。



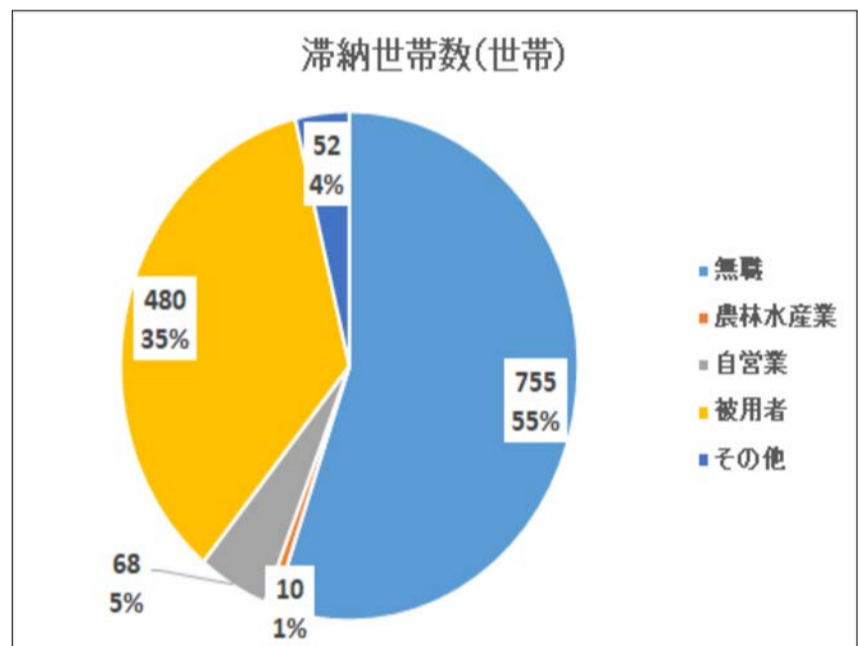
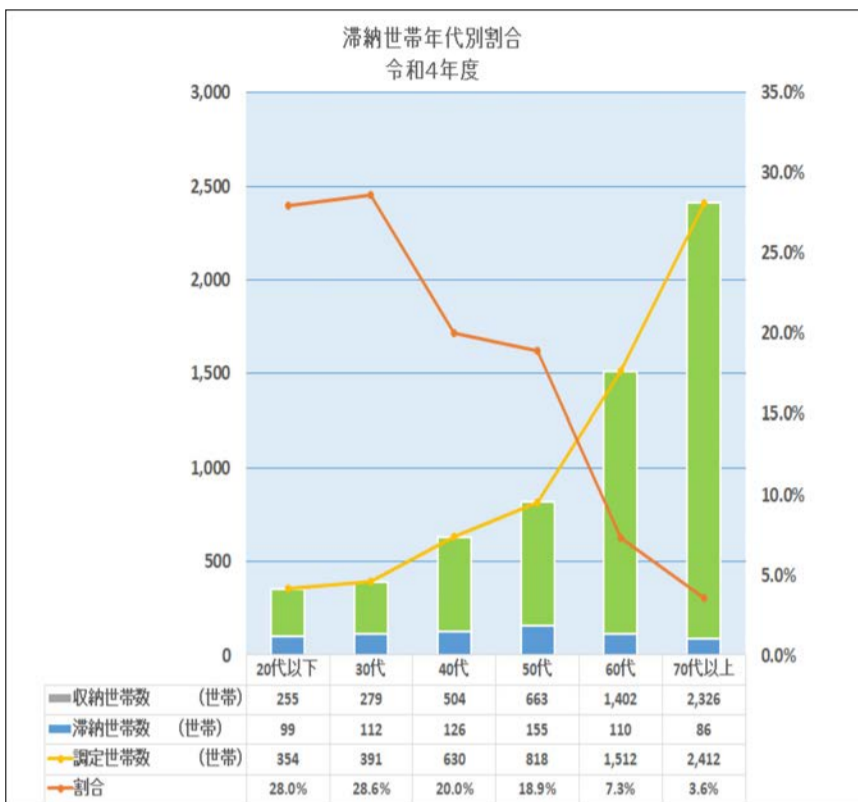
国民健康保険税

所得割率の引き上げで大幅な負担増！

かすみがうら市は令和4年度に国民健康保険税を『所得割』（8・5％）と『均等割』（4万6千円）の2方式にし、加入世帯の3割超が引き上げになりました。

令和6年度からは国民健康保険税の『所得割』を10・6％に引き上げられ、この条例案には佐藤議員のほか、設置議員も反対しました。

所得のない世帯は変りませんが（半数の世帯）、近隣市町と比べて均等割が高いうえ所得率をあげれば大変な負担になります。当市のホームページ



たので、子どもの均等割2万3千円分が「子ども医療保険応援金」として還元されますが、それでも2万1千円が値上げ分になります。

令和4年度の当市の国保税の滞納状況調査によれば、無職（年金暮らし等）世帯が775世帯（55％）で最も多く、次は被用者（非正規労働者やフリーランス等）世帯が480世帯（35％）となっています。

滞納世帯年代別割合を見ると被保険者数は70代以上の世帯が最も多く、

その内、滞納世帯は86（3・6％）です。一方、20代以下が最も少なく、滞納世帯は99（28・0％）です。30代、40代、50代と国保加入世帯数は多くありますが、30代の滞納率は28・6％と高くなっています。

	改正前	改正後	影響額
医療分	218,200	249,000	30,800
後期支援分	92,300	115,400	23,100
介護給付分	0	0	0
合計	310,500	364,400	53,900

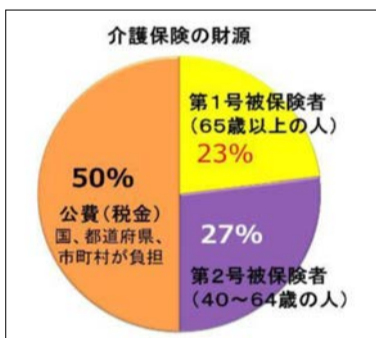
↑65歳以上2人世帯：所得300万円で引き上げ額は53,900円（アップ率17.3％）です。

年金暮らしの高齢者に厳しい

介護保険料と後期高齢者医療保険料の引き上げ

かすみがうら市は、65歳以上の第1号被保険者の介護保険料の基準所得金額、所得段階区分を11段階から13段階に改訂しましたが、基準月額を5200円から5600円（年間6万7200円）に引き上げたため、低所得者も引き上げとなります。

また、75歳以上の後期高齢者医療保険料も『所得割』を8・5％から9・66％に、『均等割』を4万6千円から4万7500円に引き上げられました。



被保険者（65歳以上の）の負担割合が約23％となっています。介護保険料は2000円も引き上げれば低所得者も救われません。引き上げによって約6700万円もの負担増だ」として反対しました。

75歳以上の後期高齢者医療保険料も一人当たり平均6万8906円が7万644円となり7542円（アップ率11％）の負担増となります。

介護保険制度は、国、地方自治体、40歳以上の市民のそれぞれの負担によって、社会全体で高齢者の介護を支える社会保険制度ですが、第1号

要望書名偽造疑い問題

5名の議員が刑事告発状を提出

かすみがうら市議会の「旧筑波ハウスの跡地利用に関する署名要望書」に関わる久松公生議員の署名活動に関する疑念に関する調査特別委員会（14人の議員）は3月14日、刑事告発状を提出しました。



久松公生議員の署名活動に関する疑念に関する調査特別委員会（14人の議員）

告発状では「私文書偽造の疑いで容疑者不詳のまま刑事告発する」とし、「私文書偽造がなされていることは明らかである」と思料される。告発人は、再発防止のためにも必要であると考えられるから、被疑者を特定し、厳罰を科していただくべく、本件告発に及んだ次第である」としています。

第8回調査特別委員会

1月16日に開かれた第8回目の調査特別委員会では、署名した覚えがないと市に伝えた男性を参事人招致しました。署名を断つたのに署名簿に名前があつたことについて、参考人は「納得いかない。誠に遺憾だ」と述べ、筆跡鑑定を求めました。

第10回調査特別委員会

2月20日に開かれた同委員会では、久松議員本人の証人尋問が行われました。要望書名偽造問題で、昨年6月12日緊急質問した佐藤議員は「宮嶋市長は、『市議会議員から署名を勧められたが断つた』と述べ、取り下げについても関与を否定しました。

はなかつたか」と尋ねると久松議員は「相談はなかったが『明日取り下げ』との連絡はあつた」と述べ、取り下げについても関与を否定しました。

署名運動に

5名の市議が協力

久松議員は、市に提出した署名簿約5200人分のうち、約3300人分に関わつたと答弁。

「約100人くらい声かけした」と話し、その内、署名活動に協力を求めた議員は、3人であること等を明らかにしました。櫻井繁行議員は署名に関わつたことを自ら表明（昨年12月8日）しているため、5名の市議が関わつていたこととなります。

市長は、提出された署名のうち約2千人分が、本人の手によらない可能性があると述べています。久松氏は「直接請求ではなくあくまで要望書であり、私が提出した中にも家族と思われる署名はあつた。家族の了承があれば代筆は問題ないと思う」と述べ、「知人も同意があれば代筆は可能」とも答弁しました。

議会の闇を見る

市議会定例会の第一回を視聴しました。冒頭の廃炉を訴えるお言葉にも説得力がありましたし、明確な根拠を述べられています。石川の大地震といえ、記憶に新しい出来事です。そうして私達、かすみがうら市民は東日本大震災を経験しています。大きな地震が多発する日本において、原発は危険で、時代遅れなように思います。

読者の広場

もつとも、時代に取残されているのは市議会の皆様の共通点であるらしく、水道事業に関しても、実際の数値と人口ビジョンの隔たりの大きさに絶句しました。

また事業として充てられる金額も気が遠くなるようで、国や県、市がいかに大雑把に金額を決めているのかが伝わって参ります。無駄でしかないという佐藤議員の主張にうなず

佐藤みみの議会報告会のお知らせ

2024年5月25日(土)午後2時~
会場:下稲吉コミュニティセンター(旧働く女性の家)

☎ 029(831)2234

3月議会のご報告をします。お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。



くばかりです。出生率に関しても、予測値がほぼ横ばいであるのに対して、現実には猛然と下降を続けています。こうした現実を無視して、机上の数値で事業を進める方針には憤りすら覚えます。他国との比較においても、日本はもはや、国際的に後れを取っている状態です。事業の入札制度については、佐藤議員はやはり入念に調べ上げたデータと、それを用いた資料を用意されています。これらを見れば、業者側への不信感は拭えません。政治を担う皆様方には、一刻も早く正気に戻って頂きたいところで御座います。今、見直すと決断が必要なのですから。【S・Y】